

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成25年7月4日(2013.7.4)

【公開番号】特開2011-237859(P2011-237859A)

【公開日】平成23年11月24日(2011.11.24)

【年通号数】公開・登録公報2011-047

【出願番号】特願2010-106259(P2010-106259)

【国際特許分類】

G 06 F 21/10 (2013.01)

G 06 F 9/445 (2006.01)

【F I】

G 06 F 9/06 6 6 0 A

G 06 F 9/06 6 1 0 L

【手続補正書】

【提出日】平成25年5月20日(2013.5.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

異なるセキュリティ強度の暗号アルゴリズムで暗号化された実行ファイルであって、第1の実行ファイルと、前記第1の実行ファイルよりもセキュリティ強度の高い暗号アルゴリズムで暗号化された第2の実行ファイルとの両方を含むアプリケーションファイルを外部装置から受信する第1の受信手段と、

異なるセキュリティ強度の暗号アルゴリズムで暗号化された複数の復号鍵であって、第1の復号鍵と、前記第1の復号鍵よりもセキュリティ強度の高い暗号アルゴリズムで暗号化され、かつ前記第2の実行ファイルを復号化するための第2の復号鍵との両方を含むライセンスファイルを前記外部装置から受信する第2の受信手段と、

前記アプリケーションファイルのインストールを開始するよりも前に予め設定された暗号アルゴリズムに従い、前記実行ファイルを復号化するための復号鍵を復号化するために必要な復号鍵を1つ取得する取得手段と、

前記取得手段によって取得された前記復号鍵を用いて前記第1または第2の復号鍵の何れか1つを復号化することで前記実行ファイルを復号化するための復号鍵を取得し、前記実行ファイルを復号化するための復号鍵を用いて、復号化対象の前記実行ファイルを復号化する復号化手段と、

を含むことを特徴とする処理装置。

【請求項2】

暗号アルゴリズムを選択するための画面であって、選択対象の種々の前記暗号アルゴリズムに対してセキュリティ強度が表示されている暗号アルゴリズム選択画面を前記外部装置へ提供する提供手段

をさらに含み、

前記アプリケーションファイルのインストールを開始するよりも前に予め設定された暗号アルゴリズムが、前記暗号アルゴリズム選択画面において選択された前記暗号アルゴリズムである

ことを特徴とする請求項1に記載の処理装置。

**【請求項 3】**

前記提供手段により提供された前記暗号アルゴリズム選択画面は、優先度が最も高い暗号アルゴリズムがデフォルトで選択されていることを特徴とする請求項2に記載の処理装置。

**【請求項 4】**

前記実行ファイルを復号化するための前記複数の復号鍵を保存し、前記保存された複数の復号鍵に優先度を与えて管理することを特徴とする請求項3に記載の処理装置。